

在宅取組型(中学校)

| | |
|----------|---|
| 学校名等 | 安八郡神戸町立神戸中学校 |
| 実施日時 | 令和2年8月8日(土)~23日(日)《夏休み:8月8日(土)~8月16日(日)》 |
| 会場 | 各家庭 |
| 参加人数 | 全校生徒(530名)・保護者 |
| 学習課題(分野) | レッツ!親子でクッキング!!(家族の大切さ・自立心) |
| 運営者の願い | 家庭教育の重要性が見直される中、親子で会話をし、触れ合う場として企画した。食べることは、人間の「生きる力」になる。取組を通じて、子ども達が「食」に興味をもつ機会にしたい。 |

学習の内容

<取組の流れ>

- ① 6月:家庭教育学級委員会にて活動の詳細を検討する。
- ② 7月:PTA本部役員会にて提案し、承諾を得る。
- ③ 8月:夏休み期間に取り組む。
- ④ 9月:PTA本部役員会にて審査。
- ⑤ 10月:家庭教育学級委員会にて掲示物の作成。
- ⑥ 10月20日~11月6日:三者懇談に合わせて展示。
- ⑦ 展示終了後は、個人に返却。



【賞の一例】
 「家族愛で賞」「スタミナ賞」
 「ハイブリッドスイーツ賞」
 「ボリューム満点賞」



1日の内の1食を親子で調理する。「食べたいメニュー」や「我が家特製メニュー」などテーマを決めて取り組む。

【メニューの紹介】
 ・真夏のフルーツポンチ(間食)
 ・家で喫茶店ごっこ(朝食)
 ・ホットプレート彩りパエリア
 ・夏野菜カレー
 ・なんちゃってペッパーランチ風ビーフペッパーライス

<生徒の感想>

- ・勉強で忙しくて、あまりお母さんと料理をする時間がとれなかったけど、久しぶりにできて楽しかったし、美味しいし、お店みたいだと言ってもらえたのでうれしかった。
- ・具の野菜や肉を食べやすい大きさに切ったり、炒めたり、自分で調理をすることができました。家族にも「美味しい」と言ってもらえたのでよかった。
- ・家族の反応は「美味しそう」「わあすごい」と褒めたりびっくりしたりしていました。片付けもワンプレートなのでとても簡単でした。また鉄板でいろいろな料理に挑戦したいです。

<保護者の感想>

- ・夏野菜を使うことで旬を感じるメニューになりました。食欲が落ちるこの時期に香辛料の入ったカレーは食欲を増す効果もあり、おいしく頂きました。
- ・2人で一緒に料理ができて楽しかったです。盛り付けがとても上手にできて、びっくりしました。とてもおいしかったのでまた作って欲しいです。

<取組の成果>

- 短い夏休みだったが、親子で調理に取り組んでいただき、家族のふれあいや食の大切さを実感してもらった。
- 時間帯やテーマを各家庭にお任せしたため、オリジナルメニューが全校に公開できた。



家庭教育学級委員による計画的で積極的な活動

- ◎毎年恒例となっている「親子で弁当作り」を見直し、各家庭で負担なく取り組んで頂ける活動内容にした。
- ◎「食べることは生きること」という基本に立ち戻り、食材を選ぶことや調理手順を知る場となるような取組にした。
- ◎報告書を回収後、PTA本部役員会で各学級から3点選出し、各学年15点に賞を付けた。
- ◎家庭教育学級委員で入賞作品を掲示し、その他の報告書も大変優れていたため、学級毎に縦じて展示した。

親子がふれあい、家族が笑顔になる取組

- ◎1日の内の1食分(朝食・昼食・間食・夕食)を選び、テーマは自由とした。「我が家の定番メニュー」「挑戦してみたいメニュー」「神戸産小松菜をフル活用したメニュー」など親子で話し合っ決めて、買い物や食事作りでふれあえた。
- ◎食事を家族全員で囲むことができ、料理の感想を語りながら家族内のコミュニケーションが図れた。